庁舎整備基本構想の体系

資料2－2

新庁舎のあるべき姿

基本理念

- 市民とともにある庁舎
- 自然・環境と共生する庁舎
- 持続可能な自治体経営の場となる庁舎

基本方針

市民サービスの向上につながる庁舎

- 利用しやすい窓口
- 市民に優しい案内
- 利用しやすい駐車場
- 便利なアクセス
- ユニバーサルデザイン

市民に開かれ、市民に親しまれる庁舎

- 議会施設の充実
- 市民交流スペース
- 情報発信
- ホスピタリティの向上

自然災害に強い、市民の安全・安心を支える庁舎

- 耐震性能の確保
- 浸水・土砂災害
- 災害・防災の拠点
- インフラのバックアップ
- 電力の自給

環境に配慮した人にも自然にも優しい庁舎

- 二酸化炭素排出削減
- ライフサイクルコスト削減
- 近隣への環境影響の低減
- 景観への配慮
- 衛生面の配慮

執務環境の改善と業務の効率化に向けた庁舎

- 執務空間の環境
- 会議室等諸室の充実
- 入館セキュリティ
- テレワークの推進

自治体DXを推進する庁舎

- 窓口のキャッシュレス化
- 各事務システムのクラウド化
- Web会議の環境整備
- 書庫と連動した文書管理